

平成 2 9 年度

社会福祉法人 大治町社会福祉協議会

事業報告書

目次

◎ 総括	1 頁
重点取組の実績と課題	
○ 各事業の実績と課題	2 頁
・総務部	2 頁
・地域福祉部	3 頁
・児童福祉部	7 頁
・障害福祉部	8 頁
・福祉サービス利用支援部	9 頁
・介護福祉部	9 頁

事業報告書の見方

1. 報告書の構成

報告書は総括、重点取組と新規事業における取組実績と課題、各事業の実績（課題）に分けて構成している。

2. 実績と課題

各事業における実績及び課題として、事業毎の報告や実績、成果に加えて課題や今後のあり方等の方向性を明記している。

3. 収入の状態

事業の実施状況を客観的に把握するため、年度毎に実績と当初予算額や決算額、収入の状態を表している。特に独自事業は、実績や経営状況の把握と事業の方向性を示す根拠して収入の状態を明記している。

総括

平成29年度は、近年利用者の減少など収支状況が悪化している介護保険事業の改善等を図るため協議を重ね策定した「経営改善計画」に基づき展開を行った。

経営状態としては、デイサービス事業の利用者が増加となり総務及び地域福祉事業の運営費も抑えることができ、介護保険事業の収益や繰越金などからの取り崩しという状態は改善できなかったものの大幅に削減することができた。

今後も引き続き経営改善計画に基づく協議検討を重ね行動計画を策定し、財政面だけでなく組織全体の改善を図っていく。

重点取組実績と課題

1. 経営改善計画に基づいた事業の実施

改善計画を実施するため、三部会（経営全般・介護事業・地域福祉事業）に常勤職員全員が携わり、経営改善行動計画を策定した。今後は、この行動計画で上げた内容に基づき具体的に事業を展開していく。

2. 生活支援・介護予防の重点化に向けた総合事業によるサービスの実施

訪問型サービスの利用件数はほぼ横ばい状態である。生活支援型サービスの提供時間が短縮されたため、より質の高いサービス提供に努めた。

通所型サービスは新規事業であり、利用件数は増加傾向にある。認知症予防に重点を置きサービスを展開した。事業の周知を図り新規利用者確保につなげていく。

3. 放課後児童クラブの適切な管理運営

東部児童クラブの建物が新設され登録人数も急増したため、児童の安全配慮を最重要課題とし管理運営に努めた。

各事業の実績（課題）

◎ 総務部

① 法人運営事業（独自事業・補助事業）

理事会5回、評議員会3回開催した。社会福祉法の一部改正のため、今後も諸規程の改正、安全衛生管理や苦情解決制度等を拡充させ、更なる組織機能の充実に努めていく。

② 会員入会促進事業（独自事業）

5・6月を会員入会強調月間として、各種団体の総会や町内の企業等に会員募集を行い、財源確保と理念の周知を図ったが、年々会員総数が減少しており、収入減少が課題となっているため、会費の使途を明確にする等、会員総数の増加を目指す。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
個人会員総数	1,161口	1,109口	1,302口	1,006口
法人会員総数	51口	46口	46口	48口
当初予算額	2,180,000円	2,180,000円	1,623,000円	1,641,000円
決算額	1,671,000円	1,569,000円	1,611,000円	1,486,000円

③ 福祉講演会事業（独自事業）

平成30年2月24日、寮美千子氏による「福祉の網の目からこぼれ落ちた子どもたち」講演会を開催した。今後も聴講者の動向や講演会の形式を検討する。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
参加者数	216人	65人	189人	120人
当初予算額	155,000円	270,000円	248,000円	309,000円
決算額	141,819円	229,760円	246,519円	141,506円

④ 実習受入事業（独自事業）

大治町教育委員会初任者研修会として町内の小中学校より新任教員2名を8月2日から8月3日まで受け入れた。今後もマンパワーの育成や社会的責任として次代を担う学生や様々な職種・年代の方の実習について受け入れる。

⑤ 指定管理運営事業（受託事業）

貸館稼働率の向上や各部屋の有効活用を図り、複合施設としてあらゆる年代の方に利用しやすい環境整備に努めた。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
開設日数	293日	293日	293日	294日
利用人数(福祉センター2階)	39,585人	39,380人	40,297人	40,572人

⑥ 広報調査研究事業（独自事業）

ボランティアを中心に「タウン大治」を作成し、年4回（4月、7月、10月、1月）発行した。また、誌面広告を募集掲載し財源の確保に努めた。タウン誌については、効果や評価の検証が必要である。福祉の最先端で活動している社会福祉協議会として調査研究機能の充実に努める。

◎ 地域福祉部

① 敬老会事業（補助事業）

平成29年9月17日に町と共催し70歳以上の高齢者の長寿を祝うために「敬老会」を開催した。対象者（70歳以上）の増加に対し当日来場者数は横ばい状態であるため、魅力あるアトラクションの企画や記念品の検討をしていく。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
来場者数	1,414人	1,369人	1,273人	1,333人
当初予算額	1,465,000円	1,424,000円	1,455,000円	1,591,000円
決算額	1,025,151円	1,005,873円	1,075,620円	1,120,245円

② 福祉まつり事業（独自事業）

平成29年11月12日に町・商工会と共催で「ふれあいフェスティバル2017」として福祉まつりを開催した。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
参加者数	2,300人	2,000人	2,000人	2,500人
当初予算額	1,425,000円	1,863,000円	1,937,000円	2,292,000円
決算額	1,400,280円	1,659,202円	1,676,439円	1,474,914円

③ 福祉団体等助成事業（独自事業）

各種団体に対する助成をはじめ、保育園助成事業、児童スポーツ大会助成事業、高齢者スポーツ大会助成事業において助成を行った。財源は共同募金と社協会費であり、財源の確保や助成効果・成果による評価、団体支援の在り方を検討していく。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
遺族会	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	
子ども会連絡協議会	160,000円	160,000円	160,000円	200,000円	
老人クラブ連合会	26,000円	26,000円	26,000円	26,000円	
障害者福祉協会	310,000円	310,000円	310,000円	310,000円	
障害児(者)を持つ親の会	168,000円	168,000円	168,000円	168,000円	
保育園助成事業	大治保育園	0円	49,140円	51,840円	47,520円
	大治東保育園	0円	50,000円	50,000円	0円
	大治南保育園	0円	52,200円	51,600円	45,600円
児童スポーツ大会助成事業	200,000円	200,000円	100,000円	0円	
高齢者スポーツ大会助成事業	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円	
合計	1,294,000円	1,445,340円	1,347,440円	1,227,120円	

④ 食の自立支援事業（受託事業）一部業務を事業者へ委託

高齢者世帯等を対象に業者による見守りを兼ねての配食サービスを行った。ご利用者が少ないため、利便性や周知方法などを検討していく。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
配食数	0食	0食	3食	88食
当初予算額	197,000円	24,300円	151,000円	151,000円
決算額	0円	0円	2,274円	59,900円

⑤ ひとり暮らし老人交流会事業（受託事業）

毎月第4水曜日に開催し、日赤奉仕団によるボランティアふれあい会食や演芸観賞、日帰り旅行等を企画し実施した。参加者は増加傾向にある。

実績 / 年度	26年度	27年度	28年度	29年度
開催日数	12日	12日	12日	12日
参加者数	218人	217人	266人	307人
当初予算額	467,000円	479,000円	478,000円	543,000円
決算額	409,116円	411,864円	471,224円	528,417円

⑥ ボランティアセンター運営事業（独自事業+補助事業）

ボランティア活動に関する相談を受け、登録や活動の斡旋または紹介を行った。またテント等の災害時備品を購入、災害時を想定した災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施した。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
ボランティア人数	1,018人	1,024人	1,020人	1,002人
当初予算額	418,000円	355,000円	365,000円	2,633,000円
決算額	391,148円	314,663円	328,666円	2,571,918円

⑦ 福祉協力校事業（独自事業）

町内の小学校3校、中学校1校を福祉協力校として委嘱し、福祉実践教室等での講師派遣や紹介、共同募金への協力依頼や総合福祉センターの見学等の連携を行った。また、福祉教育の視点から積極的な情報提供と更なる連携強化を図った。今後、児童・生徒がより福祉に関心が持てるようなカリキュラムを考えていくため、各学校及び派遣講師と検討していく。

実績 / 年度		26年度	27年度	28年度	29年度
参加児童数	大治中学校	332人	322人	344人	310人
	大治小学校	339人	132人	130人	414人
	大治西小学校	105人	95人	90人	188人
	大治南小学校	144人	104人	114人	131人
当初予算額		218,000円	218,000円	215,000円	200,000円
決算額		200,000円	202,388円	200,000円	200,000円

⑧ 講座開催事業（独自事業）

聴覚障害者への理解を深め、地域共生社会と社会的障壁除去に資することを目的に手続奉仕員養成講座を開催。16名の参加者のうち10名の方が修了した。

実績 / 年度	26年度	27年度	28年度	29年度
参加人数	-	12人	9人	16人
当初予算額	71,000円	204,000円	27,000円	1,058,000円
決算額	0円	209,320円	19,825円	222,220円

⑨ ボランティアグループ支援事業（独自事業）

ボランティア団体にその活動支援のため補助金を交付した。タウン誌編集のボランティアについては、社協広報誌という性格から積極的な支援を行う。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
タウン誌編集	75,000円	0円	0円	0円
ゆめあゆみ	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円
かたつむり	26,000円	26,000円	26,000円	26,000円
合計	181,000円	106,000円	106,000円	106,000円

⑩ 心配ごと相談事業（独自事業）

定例相談及び無料法律相談を開設した。定例相談は民生・児童委員を相談員として毎月第1・3火曜日の午後2時から4時まで開設し、住民の相談に対応した。また、無料法律相談は年5回第4火曜日の午後2時から4時まで開設し、弁護士が法的解決に向け助言を行った。

実績 / 年度		26年度	27年度	28年度	29年度
定例相談	開催日数	23日	22日	21日	23日
	取扱実件数	5件	2件	10件	9件
	取扱延件数	5件	3件	14件	9件
無料法律相談	相談員延人員	23人	21人	20人	23人
	開催日数	5日	5日	5日	5日
	取扱実件数	23件	23件	20件	21件
	取扱延件数	23件	23件	20件	21件
	相談員延人員	5人	5人	5人	5人
当初予算額		158,000円	161,000円	206,000円	177,000円
決算額		148,699円	140,993円	164,076円	171,628円

⑪ 地域福祉サービスセンター事業（補助事業）

相談支援及び住民同士の交流やふれあいを目的とした事業を実施した。地域福祉を推進できるよう役割を明確にし、相談機能の在り方について検討していく。

⑫ 募金推進協力事業（独自事業）

大治町共同募金委員会の事業であるが、事務局を兼ねていることから赤い羽根共同募金運動（10月1日から12月31日までの活動期間）に協力した。赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールの作品の取りまとめや募金目標額の設定、関係資材の配付等を行った。事務処理の簡素化、共同募金の経理処理の実施、募金額の伸び悩みが課題である。

⑬ 歳末たすけあい事業（独自事業）

歳末たすけあい運動（12月1日から31日までの活動期間）として、平成29年12月2日に社協役員、民生・児童委員、ボランティア及び小中学生とともに町内スーパー等の店舗入口前で街頭募金を実施するなど募金活動に協力した。地域福祉事業への募金配分方法について検討していく。

（参考）

実績 / 年度	26年度	27年度	28年度	29年度
一般共同募金	1,467,769円	1,681,996円	1,575,385円	1,422,290円
歳末助け合い募金	953,381円	999,893円	843,849円	950,990円
合計	2,421,150円	2,681,889円	2,419,234円	2,373,280円

⑭ 福祉サービス利用援助事業（受託事業・補助事業）

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方に対し、住み慣れた地域で生活ができるよう福祉サービス利用の援助や金銭等の管理の支援に努めた。29年度中に2名が契約終了となった。今後対象者が増加すると考えられるため、生活支援員を増員する等の支援体制の充実が課題である。

実績 / 年度	26年度	27年度	28年度	29年度
契約件数	-	3件	4件	4件
当初予算額	-	462,000円	528,000円	572,000円
決算額	-	327,722円	321,500円	291,503円

⑮ くらしサポート事業（独自事業）

29年度中に利用者（1名）が契約終了となったため、29年度末で事業を終了した。

⑯ 生活福祉資金貸付事業（受託事業）

生活福祉資金貸付事業（受託事業）生活保護費支給までのつなぎ資金として、新規相談者5名につき緊急小口資金の貸付申請を行い、いずれも支給決定・全額償還がされた。

償還指導については、借受人13名及び連帯保証人2名に対し、定期的な督促状の送付、電話連絡、訪問、面談を行った。借受人1名は、民生委員とともに訪問を行った。

行方不明の借受人1名に対しては、職権にて住民票を取得し所在確認を行った。

その結果、完済1名、定期償還3名及び未償還総額の減少につながった。

貸付対象外の方に対しては、必要に応じて生活困窮者自立支援制度へつなぎ、家計管理等の継続的な支援体制の構築に努めた。

⑰ 町くらし資金貸付事業（独自事業）

借受人3名全員が行方不明のため、職権にて住民票を取得するなど所在確認を行った。今後も督促状の送付や電話連絡など、継続して償還指導を続ける。

実績 / 年度	26年度	27年度	28年度	29年度
⑯ 生活福祉資金貸付事業				
新規貸付件数	1件	0件	4件	5件
貸付件数	23件	20件	14件	13件
貸付額	7,506,700円	6,553,615円	4,585,243円	4,415,243円
償還済額	2,187,720円	1,597,450円	233,443円	※ -22,887円
未償還額	5,318,980円	4,956,165円	4,351,800円	4,438,130円
⑰ 町くらし資金貸付事業				
新規貸付件数	0件	1件	0件	0件
貸付件数	8件	9件	3件	3件
貸付額	550,000円	400,000円	300,000円	300,000円
償還済額	131,000円	131,000円	31,000円	31,000円
未償還額	419,000円	519,000円	269,000円	269,000円
償還免除額	0円	250,000円	0円	0円
貸付残高	419,000円	269,000円	269,000円	269,000円

※貸付滞納者の未償還額と延滞利子が、全体の償還額を上回りマイナスとなる。

⑱ 生活援助事業（独自事業）

生活困窮者を対象に食糧支援や貸付、助成等を行った。食糧支援については、フードバンクと提携し、食料内容の充実と業務の簡素化を図っている。財源は共同募金の配分金であり事業継続の必要性を検討する。福祉サービス利用援助事業利用料助成事業は平成28年度末で廃止した。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
行路病者食料支援事業				
支援件数	10件	11件	16件	13件
支援食糧購入額(手数料含)	10,715円	24,950円	22,782円	12,120円
行路病者貸付事業				
貸付件数	7件	5件	5件	2件
貸付金額	400円	400円	400円	200円
福祉サービス利用援助事業利用料助成事業				
延利用件数	4件	21件	24件	-
助成額	11,700円	66,510円	53,080円	-

◎ 児童福祉部

① 児童センター事業（受託事業）

小学生及び幼児を対象とした各種講座・教室を中心に事業展開し、年間を通じ多くの子どもと保護者が利用した。また、発達障がい児等の相談支援事業を実施し、関係機関との連絡調整を行った。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
延べ人数	22,367人	21,050人	20,059人	19,153人
当初予算額	6,088,000円	6,670,000円	6,896,000円	7,133,000円
決算額	6,052,020円	6,553,761円	6,733,837円	6,970,407円

② 地域子育て支援拠点事業「はるっこ」（受託事業）

就学前の幼児とその保護者を対象に、交流の場としての「はるっこルーム」を開設し子育て情報の提供、各種講座の開催を行った。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
延べ人数	15,896人	14,324人	13,536人	9,838人
当初予算額	9,307,000円	9,632,000円	9,995,000円	10,648,000円
決算額	9,226,807円	9,456,691円	9,956,729円	10,255,206円

③ 放課後児童健全育成事業（受託事業）

各小学校区において、小学校1年生から6年生までの児童を対象に健全育成を行った。児童クラブ指導員の補助のために指導員を巡回させ、集団生活になじみにくい児童への個別支援を行うなど指導の充実を図り、円滑な運営に努めた。

なお、児童クラブ入会児童の増加に伴い、八ツ屋防災コミュニティセンターの児童室にて保育を実施した。（平成28年12月から東部に統合）

実績 / 年度	26年度	27年度	28年度	29年度
東 部 児 童 ク ラ ブ				
登録児童数	637人	611人	616人	1,055人
延出席児童数	10,325人	9,951人	9,846人	16,266人
開設日数	293日	292日	290日	291日
当初予算額	5,499,000円	7,105,000円	8,417,000円	15,161,000円
決算額	5,439,974円	7,163,668円	7,952,897円	13,950,277円
西 部 児 童 ク ラ ブ				
登録児童数	627人	596人	509人	615人
延出席児童数	9,727人	8,771人	7,840人	9,995人
開設日数	293日	292日	290日	291日
当初予算額	6,591,000円	7,018,000円	7,797,000円	10,657,000円
決算額	6,496,936円	7,432,580円	6,597,191円	8,570,571円
南 部 児 童 ク ラ ブ				
登録児童数	718人	927人	927人	967人
延出席児童数	11,873人	15,395人	14,726人	14,955人
開設日数	293日	292日	290日	291日
当初予算額	16,042,000円	16,719,000円	22,077,000円	25,786,000円
決算額	15,205,366円	16,537,228円	20,977,984円	23,180,637円
ハ ツ 屋 児 童 ク ラ ブ				
登録児童数	-	202人	110人	-
延出席児童数	-	3,233人	1,509人	-
開設日数	-	292日	197日	-
当初予算額	-	7,964,000円	5,743,000円	-
決算額	-	4,813,833円	2,734,880円	-

④ 親子通園療育事業「かがやき園」(受託事業)

小学校に入学するまでの、心身の発達の遅れまたは、そのおそれのある児童とその保護者を対象に、母子関係の形成や生活習慣の獲得などを目的に週3回実施した。幼稚園・保育園と併用で通園する児童が増加してきたため、必要に応じて幼稚園・保育園と連携を図った。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
延利用人数	766人	724人	828人	755人
延開所日数	140日	136日	137日	135日
当初予算額	4,188,000円	4,506,000円	4,448,000円	4,927,000円
決算額	4,058,232円	4,015,752円	4,301,826円	4,284,195円

◎ 障害福祉部

① 福祉作業所「さつきの家」(独自事業)

個別支援計画に基づく作業生に対する支援方法の見直し・工賃アップを目指した作業改革への取り組みを行った。また、新たな作業生の確保を目指し、魅力のある事業内容への変革を図った。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
B型就労支援事業(定員20名)				
延利用人数	3,039人	2,885人	2,503人	2,596人
延開所日数	242日	239日	242日	239日
稼働率※1	63%	60%	52%	54%
当初予算額	19,070,000円	19,420,000円	17,810,000円	17,822,000円
決算額	19,379,138円	18,987,053円	17,471,290円	16,391,570円

※1 稼働率 = 延利用件数 ÷ 延開所日数 ÷ 定員数 × 100 (小数点以下四捨五入)

② 「おおはる」指定障害相談支援事業所（受託事業）

計画相談の受け入れのため、業務の効率化を図った。各相談員が積極的に研修会等に参加し、2名が相談支援専門員の資格を取得した。また、事業所内部でケースカンファレンスを定期的に行い、相談支援体制の向上に努めた。

海部東部総合支援協議会や大治町障害者福祉計画策定会議へ参画をし、障害福祉分野での地域福祉推進に努めた。また、ヘルパー事業所への障害サービスの説明や情報ファイルの窓口設置を行った。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
相談実人数	129人	141人	151人	143人
相談件数	1,866件	2,498件	2,605件	3,090件
当初予算額	8,025,000円	8,148,000円	9,675,000円	9,629,000円
決算額	7,440,374円	7,950,433円	8,958,011円	9,933,221円

◎ 福祉サービス利用支援部

地域包括支援センター事業【公益事業】（受託事業）

地域包括ケアシステム推進のため、地域ケア会議や生活支援体制整備協議会や介護支援専門員ネットワーク会議等の開催や関係機関と連携した。今後も地域包括ケアシステムの実現に向けて取り組む。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総合相談件数	1,703件	2,199件	2,100件	2,454件
当初予算額	22,487,000円	20,825,000円	26,407,000円	26,843,000円
決算額	18,574,358円	18,737,914円	23,571,041円	25,948,054円

◎ 介護福祉部

① 「おおはる」指定居宅介護支援事業所（独自事業）

要介護認定者に対しケアマネジメントを実施した。また、地域包括支援センターから要支援者のマネジメントを、海部東部消防組合から認定調査を受託した。経営の安定化を図るため特定事業所加算取得に向けた条件整備や支出削減に取り組む。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
給付管理件数	1,630件	1,324件	1,616件	1,739件
当初予算額	18,754,000円	18,719,000円	19,740,000円	19,740,000円
収入の状態	18,674,820円	17,274,968円	14,659,067円	17,977,570円

② ホームヘルパーステーション「おおはる」事業（独自事業・受託事業）

介護保険事業（独自事業）は訪問回数や時間数が年々減少しているが、障がい関係事業（独自事業）については増加傾向にある。今後も新規利用者確保に取り組む。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
介護保険事業				
延利用件数	765件	860件	672件	572件
延訪問回数	10,180回	10,264回	9,356回	8,245回
延訪問時間数	8,511.0時間	8,525.6時間	7,907.0時間	6,054.0時間
当初予算額	32,036,000円	29,323,000円	22,674,000円	22,674,000円
収入の状態	30,211,295円	29,697,429円	26,801,443円	23,051,968円
障害関係事業				
延利用件数	121件	143件	131件	147件
延訪問回数	899回	1,110回	955回	870回
延訪問時間数	1,168.0時間	1,530.0時間	1,371.0時間	1,226.0時間
当初予算額	2,607,000円	1,920,000円	2,786,000円	2,786,000円
収入の状態	2,709,180円	3,118,690円	2,932,753円	3,063,120円
入所者等が一時帰宅に対する者へのヘルプサービス事業				
延利用件数	1件	3件	1件	1件
延訪問回数	1回	3回	1回	1回
延訪問時間数	2時間	4時間	2時間	1時間
当初予算額	0円	0円	0円	0円
収入の状態	4,000円	8,000円	3,000円	2,000円
産後ホームヘルパー派遣事業				
延利用件数	2件	1件	2件	1件
延訪問回数	7回	10回	10回	7回
延訪問時間数	11時間	10時間	19時間	27時間
当初予算額	0円	0円	0円	0円
収入の状態	25,850円	23,600円	44,840円	63,720円
養育支援訪問事業				
延利用件数	-	-	-	-
延訪問回数	-	-	-	-
延訪問時間数	-	-	-	-
当初予算額	-	-	-	-
収入の状態	-	-	-	-

③ 大治町老人デイサービスセンター事業（独自事業・受託事業）

新たに29年度より、要支援者等へも利用対象を拡大しサービスを提供した。利用件数は増加傾向にある。認知症予防に重点的に取り組み、魅力あるサービス提供に繋げた。身体障害者デイサービス事業（受託事業）については減少している。

実績/年度	26年度	27年度	28年度	29年度
介護保険事業(定員30名)				
延利用件数	3,413件	2,693件	3,059件	3,343件
延開所日数	293日	289日	293日	293日
稼働率 ※1	39%	31%	35%	38%
当初予算額	38,427,000円	24,036,000円	26,101,000円	29,027,000円
収入の状態	29,100,614円	24,505,532円	25,230,407円	28,167,589円
総合事業(定員各10名)				
延利用件数				141件
延開所日数				293日
稼働率	-	-	-	-
当初予算額				791,000円
収入の状態				134,030円
身体障害者デイサービス事業				
延利用件数	105件	172件	246件	164件
延開所日数	293日	289日	293日	293日
稼働率	-	-	-	-
当初予算額	57,000円	72,000円	78,000円	179,000円
収入の状態	27,000円	109,300円	97,600円	126,400円

※1 稼働率＝延利用件数÷延開所日数÷定員数×100（小数点以下四捨五入）